

人権問題について 考えてみよう

港区人権意識調査から



港区
平成 23 年 3 月

はじめに

私たちは、家庭、地域、職場、学校などで多くの人たちとかわり合いをもって生きています。その中で、一人ひとりが自分らしく生き、他の人たちとともに、みんなが幸せに生きていくためには、お互いの個性を尊重し、認め合う必要があります。

区は、「差別・偏見・いじめのない人権尊重のまち港区の実現」を目標としています。

しかしながら、残念なことに、不合理な差別や偏見は依然として社会の中に存在し、悩み苦しんでいる人がたくさんいます。また、ドメスティック・バイオレンス（配偶者等からふるわれる暴力）や児童虐待など、家庭内で発生するために潜在化しやすく、ときには生命を脅かすような深刻な人権侵害が後を絶ちません。

この冊子は、平成 22 年度に実施した「人権に関する区民意識調査」の結果を分かりやすくまとめたものです。多くの方にご活用いただき、さまざまな視点から人権問題をとらえ、理解を深めていただきたいと思います。

意識調査にご協力いただいた多くの区民の皆さんに、心から御礼を申し上げます。

平成 23 年 3 月

港区長 武井 雅昭



港区では、人権の尊重という観点から、女性、子ども、高齢者、障害者など区民の人権を守るため、様々な取り組みを行なっています。

このたび区では、より一層の人権が尊重される社会の実現のための施策を展開するにあたり、その基礎資料とすることを目的とした区民意識調査を行いました。

この冊子は、その「港区人権に関する意識調査」の主な結果をまとめたものです。

調査の概要

調査対象：区内在住の 18 歳以上の男女 2,000 人

調査期間：平成 22 年 8 月 30 日～ 9 月 30 日

調査方法：郵送による配布、郵送回収

抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出法

回収結果：回収率 49.8%



I 回答者の属性 4

II 調査結果

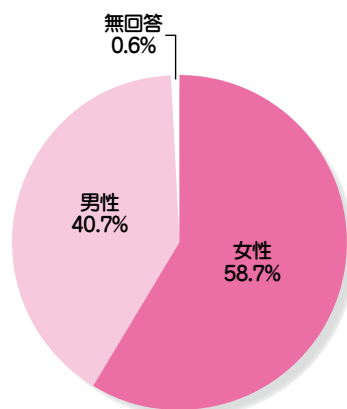
- 1 人権に関する意識 5
- 2 被差別経験と差別経験 6
- 3 女性問題 8
- 4 同和問題 10
- 5 と畜業務 12
- 6 身元調査 13
- 7 子どもの人権 13
- 8 高齢者の人権 14
- 9 障害者の人権 15
- 10 外国人の人権 16
- 11 エイズ患者・HIV 感染者の人権 17
- 12 その他の人権 18



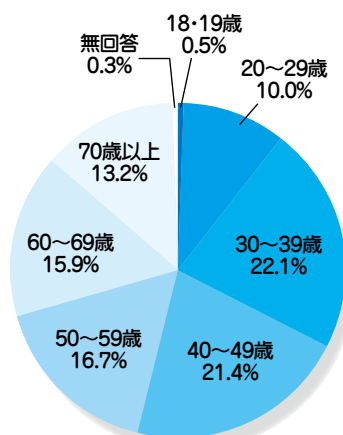
I | 回答者の属性

回答者の属性は以下の通りです。

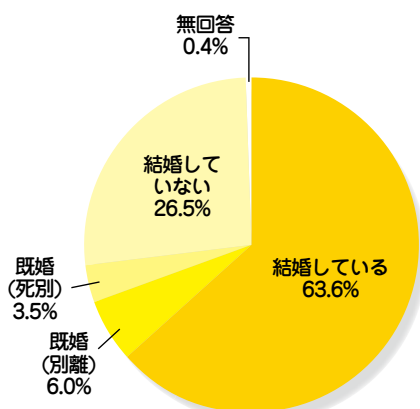
性別



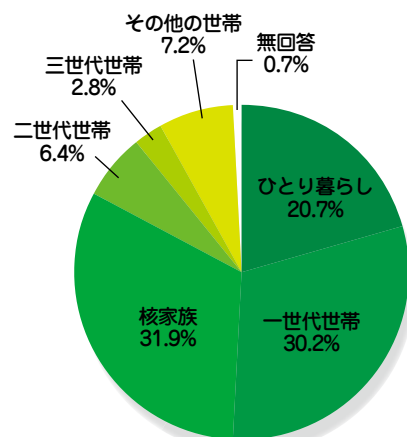
年齢



結婚の有無



家族構成

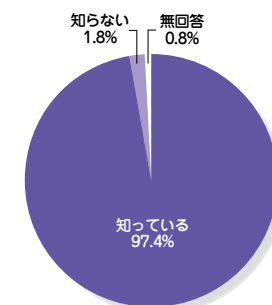


II | 調査結果

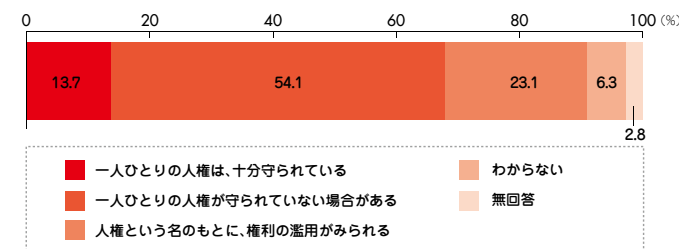
1 人権に関する意識

- 日本国憲法において、基本的人権の尊重が保障されていることを「知っている」人は97.4%を占めています。
- 「一人ひとりの人権は、十分守られている」と考える人はわずかに13.7%です。
- 「子どもへのいじめや虐待」など、社会的に立場の弱い者への差別や虐待に対する関心が高くなっています。

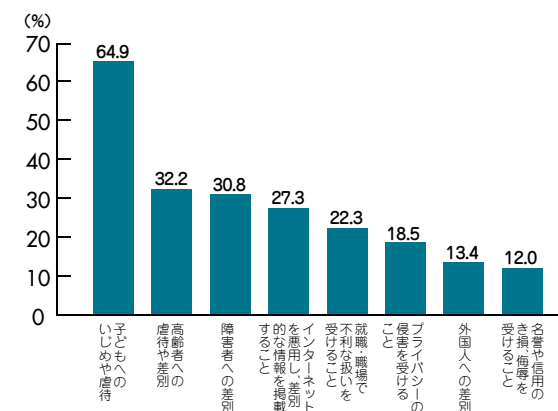
基本的人権の周知状況 (n=996)



人権についての意識 (n=996)



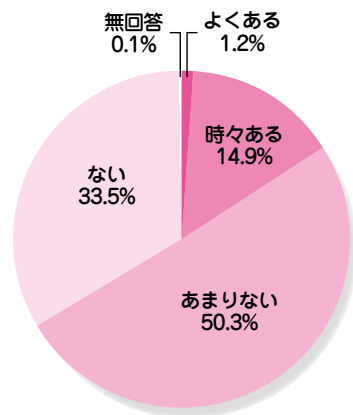
関心のある人権侵害 (上位8位) (n=996)



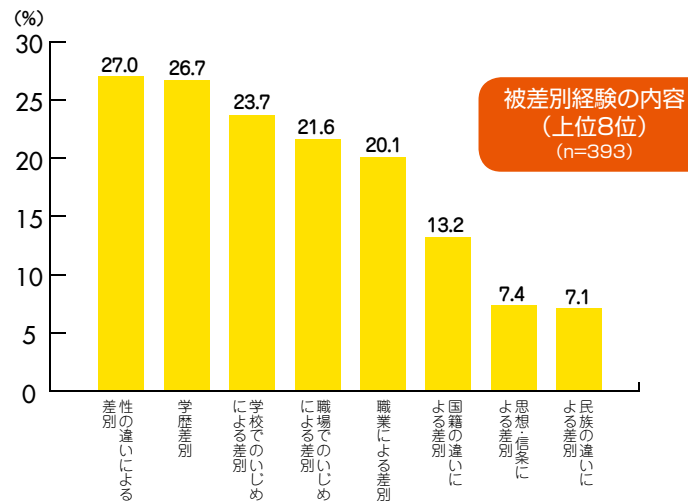
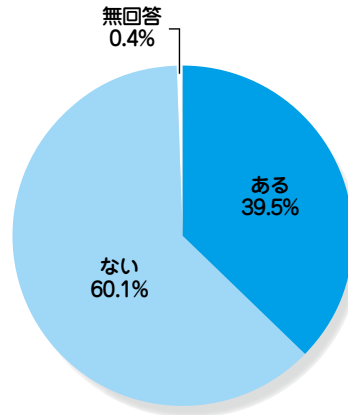
2 被差別経験と差別経験

- 周囲の人が差別的な行動や発言をしていた時に、自分も差別をしてしまった経験のある(よくある・時々ある)人は16.1%、経験のない(あまりない・ない)人は83.8%です。
- これまでに差別をされたと感じた人は39.5%を占めています。差別の内容は「性の違いによる差別」「学歴差別」などが挙げられます。

周囲の差別的行動に同調した経験の有無(n=996)

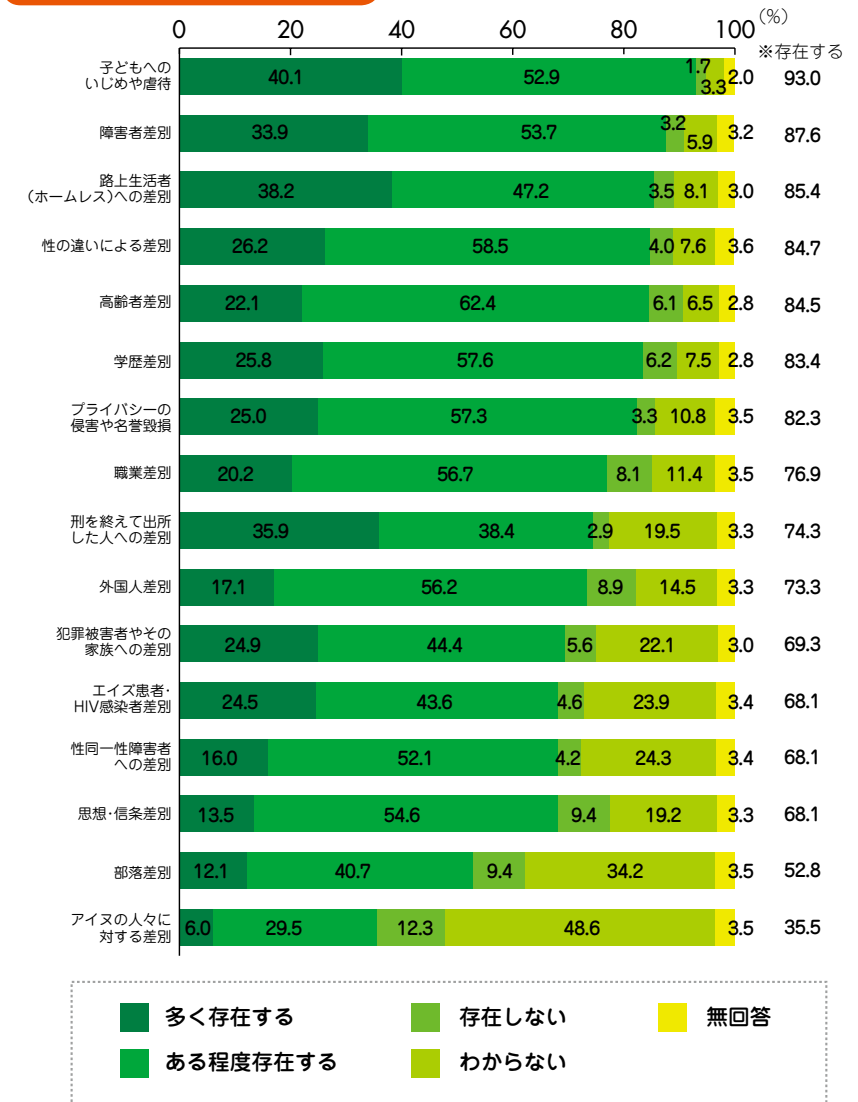


差別経験の有無(n=996)



- 現実の社会で、「子どもへのいじめや虐待」「障害者差別」「路上生活者(ホームレス)への差別」「性の違いによる差別」「高齢者差別」「学歴差別」「プライバシーの侵害や名誉毀損」について、80%以上の人々が差別は存在すると考えています。

社会における差別の現状(n=996)

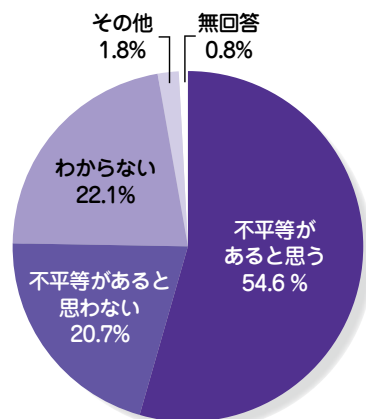


※存在する:「多く存在する」と「ある程度存在する」を合わせた数値

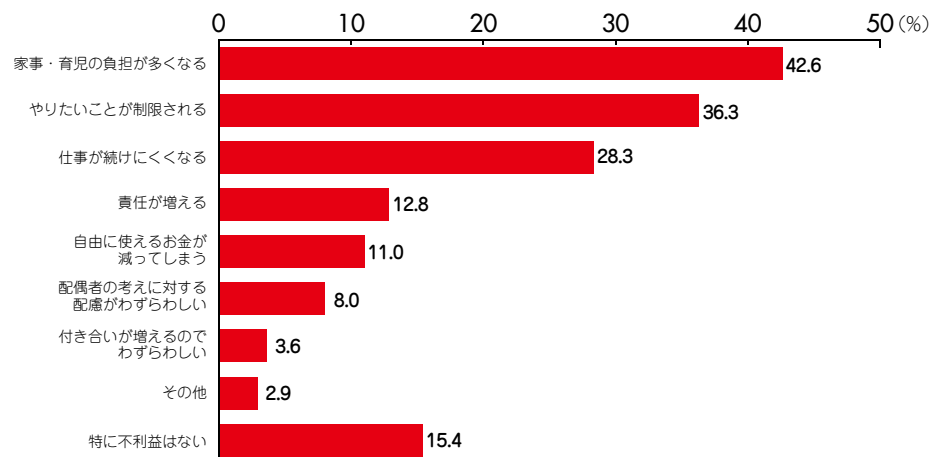
3 女性問題

- 就職の面接で性による「不平等があると思う」人は、54.6%を占めています。
- 結婚して不利になると思うことは、「家事・育児の負担が多くなる」「やりたいことが制限される」「仕事が続けにくくなる」ことです。

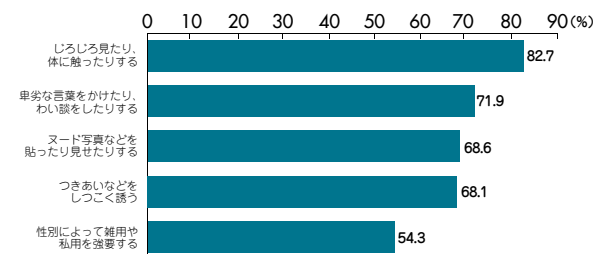
性の不平等の有無(n=996)



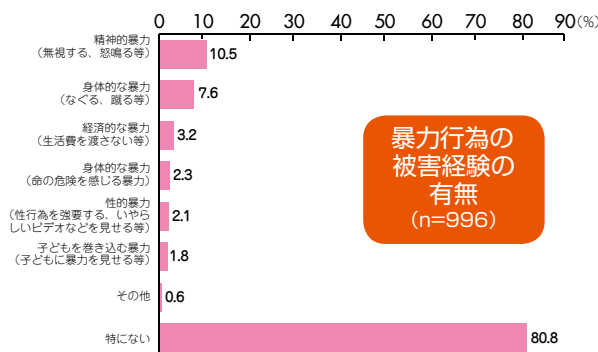
結婚後の不利になると思う事柄(n=996)



- 性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)だと思うのは、「じろじろ見たり、体に触ったりする」が82.7%を占め、次いで、「卑劣な言葉をかけたり、わい談をしたりする」「ヌード写真などを貼ったり見せたりする」となっています。
- ドメスティック・バイオレンスの経験としては、無視されたり怒鳴られたりする「精神的暴力」が10.5%、「命の危険を感じる暴力」が2.3%です。そのうち相談した経験のある人は46.2%で、その相手としては「友人・知人」が多くなっています。

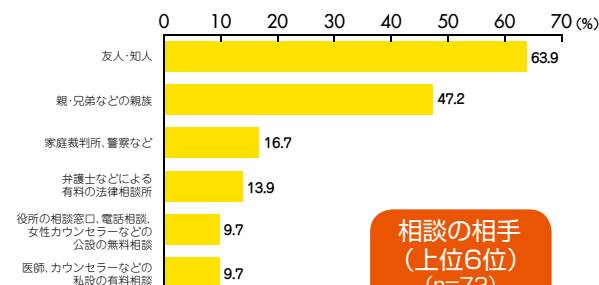
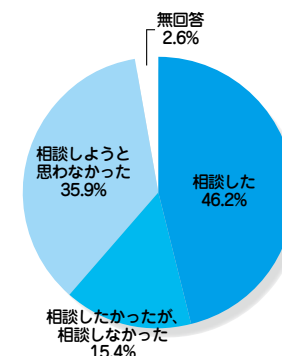


セクシュアル・ハラスメント観(上位5位)(n=996)



暴力行為の被害経験の有無(n=996)

暴力行為の相談の有無(n=156)

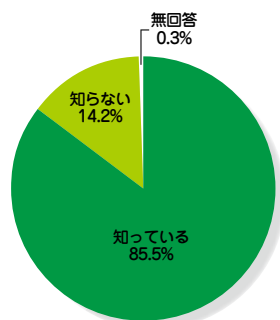


相談の相手(上位6位)(n=72)

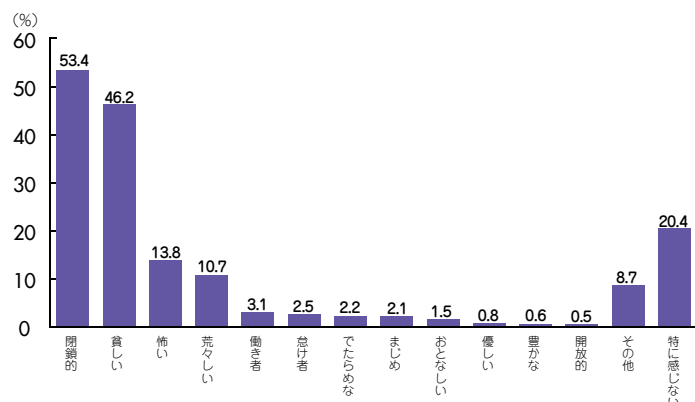
4 同和問題

- 日本の社会に同和問題といわれる差別があることを「知っている」人は85.5%となっています。
- 同和問題を知っている人が「同和地区」「差別部落」「部落」という言葉から受ける印象は、「閉鎖的」「貧しい」が圧倒的に多くなっています。
- 隣近所の人が「同和地区」(被差別部落)出身であるとわかった場合の対応については、「これまでと同じように親しく付き合っていく」は73.1%となっています。

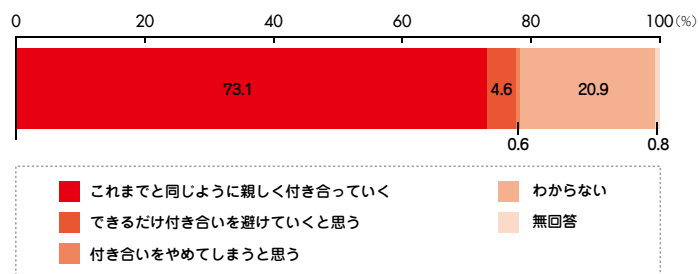
同和問題の周知状況 (n=996)



言葉から受ける印象 (n=852)

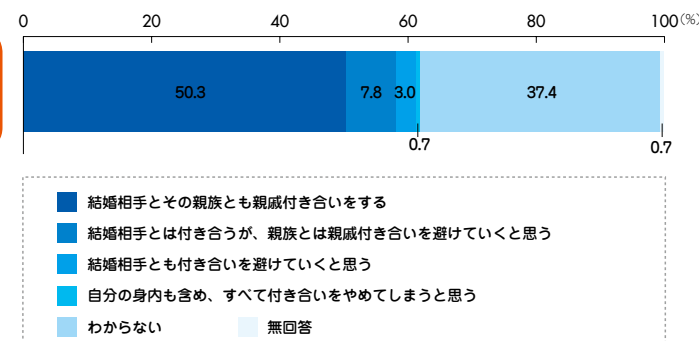


隣近所の人が同和地区出身者である場合の対応 (n=996)

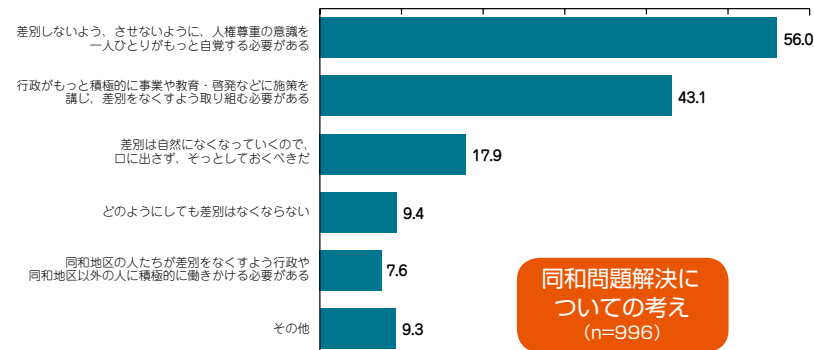
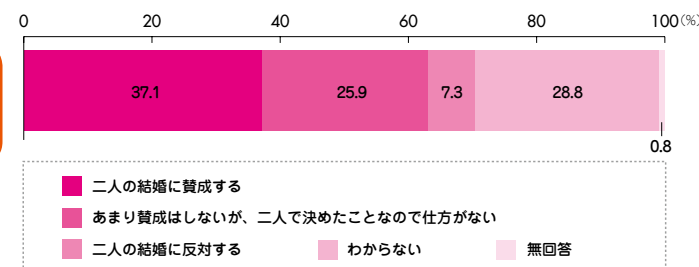


- 自分の身内の結婚相手が「同和地区」(被差別部落)出身であるとわかった場合の対応については、「結婚相手とその親族とも親戚付き合いをする」は50.3%となっています。
- 子どもの結婚相手が「同和地区」(被差別部落)出身である場合の対応については、「二人の結婚に賛成する」は37.1%にとどまります。
- 同和問題解決のために今後必要な取り組みとしては、「差別しないよう、させないように、人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚する必要がある」が最も多く56.0%となっています。

身内の結婚相手が同和地区出身である場合の対応 (n=996)



子どもの結婚相手が同和地区出身である場合の対応 (n=996)

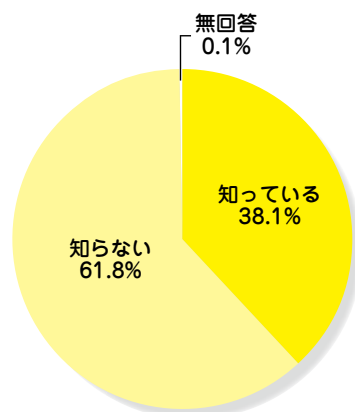


同和問題解決についての考え (n=996)

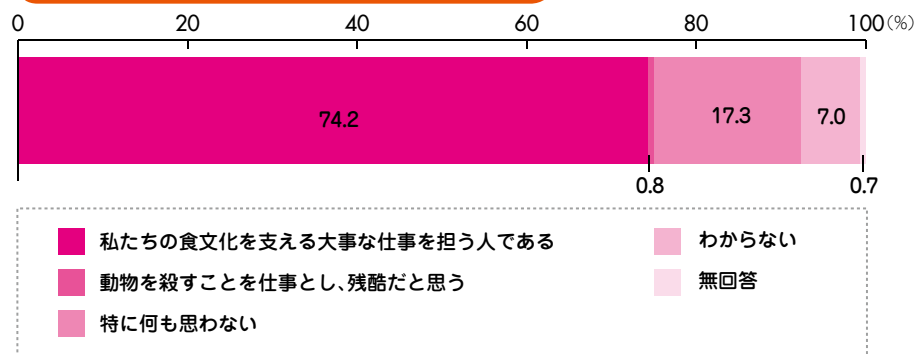
5 と畜業務

- 港区には東京都中央卸売市場食肉市場に併設すると畜場があるが、そのと畜業務に対する差別を「知らない」人は61.8%です。
- 生体と畜業務に携わる人については、「私たちの食文化を支える大事な仕事を担う人である」が74.2%と最も多くなっています。

と畜業務に対する差別の認識(n=996)



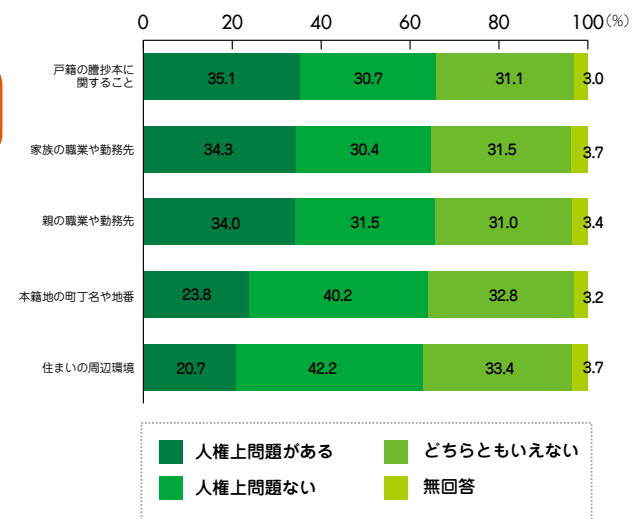
生体と畜業務に携わる人についての意識(n=996)



6 身元調査

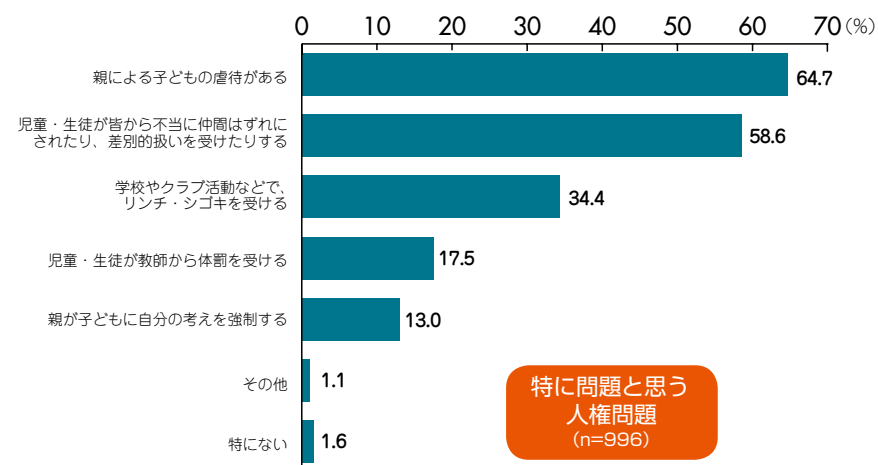
- 採用試験時の質問内容で人権上問題があると思うのは、「戸籍の謄抄本に関する事」「家族の職業や勤務先」「親の職業や勤務先」の順で多くなっています。

採用試験時の
質問内容の是非
(n=996)



7 子どもの人権

- 子どもの人権上特に問題と思うのは「親による子どもの虐待がある」が64.7%、「児童・生徒が皆から不当に仲間はずれにされたり、差別的扱いを受けたりする」が58.6%と多くなっています。

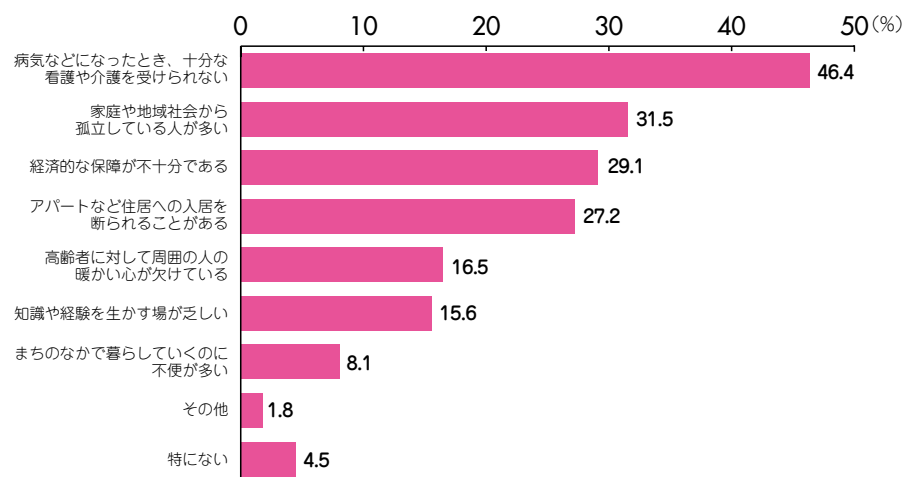


特に問題と思う
人権問題
(n=996)

8 高齢者の人権

- 高齢者の人権上特に問題と思うのは、「病気などになったとき、十分な看護や介護を受けられない」が46.4%と最も多くなっています。

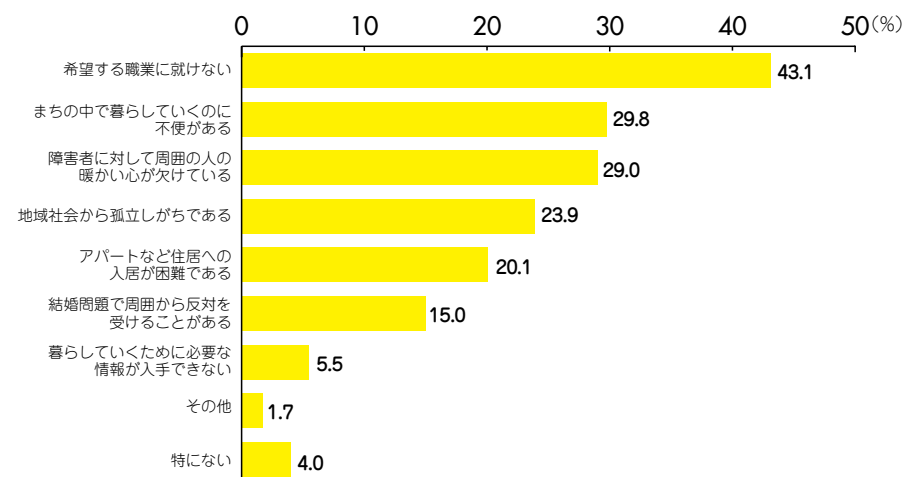
特に問題と思う人権問題(n=996)



9 障害者の人権

- 障害者の人権上特に問題と思うのは、「希望する職業に就けない」が43.1%と最も多くなっています。

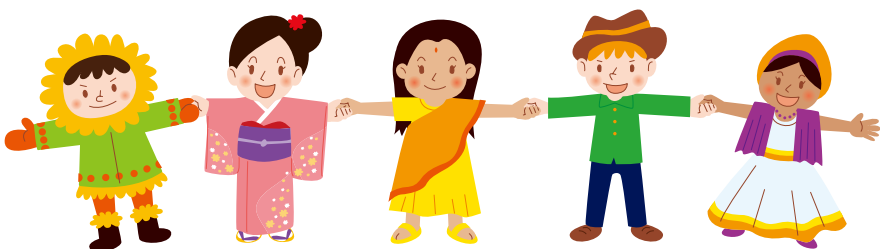
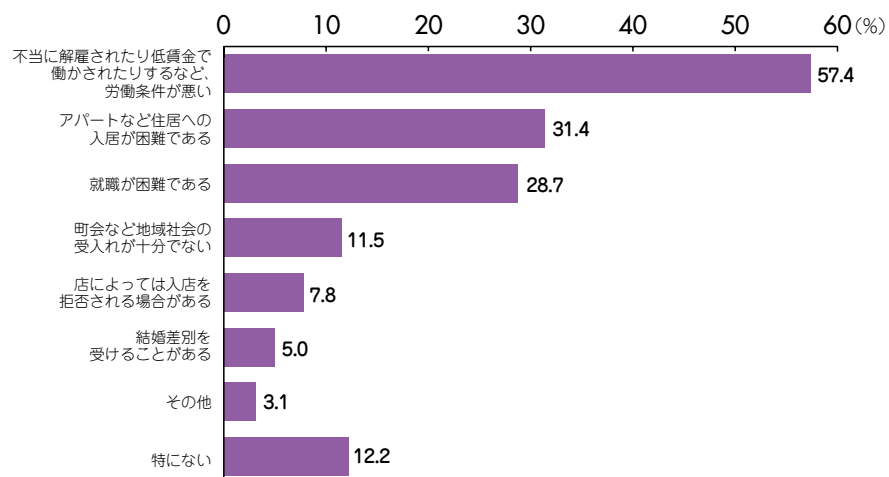
特に問題と思う人権問題(n=996)



10 外国人の人権

- 外国人の人権上特に問題と思うのは、「不当に解雇されたり低賃金で働かされたりするなど、労働条件が悪い」が最も多く、57.4%となっています。

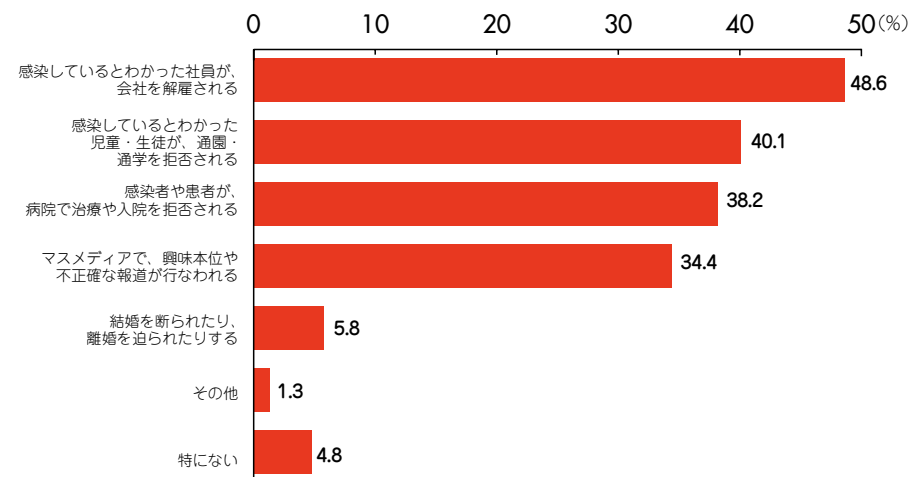
特に問題と思う人権問題(n=996)



11 エイズ患者・HIV感染者の人権

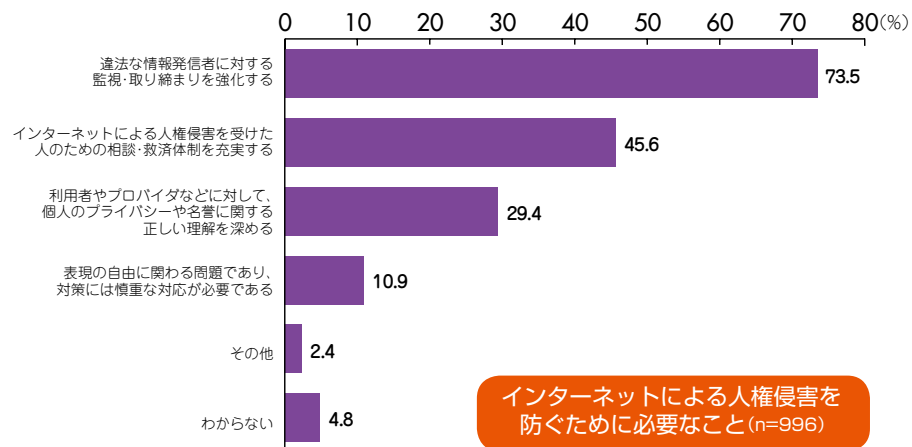
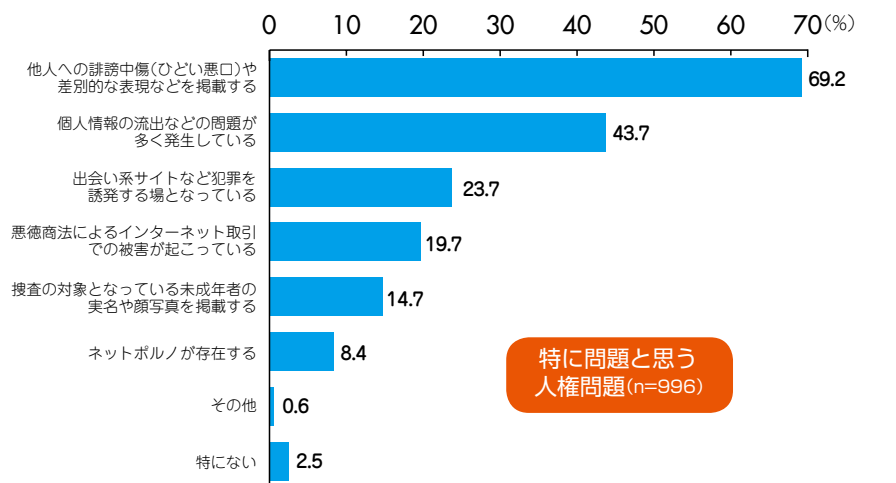
- エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者の人権上特に問題と思うのは、「感染しているとわかった社員が、会社を解雇される」が48.6%、「感染しているとわかった児童・生徒が、通園・通学を拒否される」が40.1%となっています。

特に問題と思う人権問題(n=996)



12 その他の人権

- インターネットに関することで人権上特に問題と思うのは、「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）や差別的な表現などを掲載する」が最も多く、69.2%となっています。
- インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なことは、「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」であるとする人が、73.5%です。



港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和 60 年 8 月 15 日

港区



刊行物発行番号 22216-6411

「人権問題について考えてみよう」
港区人権意識調査から
平成 23 年（2011 年）3 月発行

港区総務部総務課 人権・男女平等参画係
港区芝公園 1 丁目 5 番 25 号
電話：03-3578-2111（代表）

区の木



ハナミズキ

ミズキ科
北米原産 外来種
落葉広葉樹

区の花



アジサイ

ユキノシタ科
日本（関東南部）原産
落葉広葉樹 1.5m～2.0m



バラ

バラ科
日本、中国、欧州原産
常緑落葉低木つる



港区のマークは、昭和 24 年 7 月 30 日に制定されました。旧芝・麻布・赤坂の三区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。
この印刷物は、古紙を活用した再生紙を使用しています。